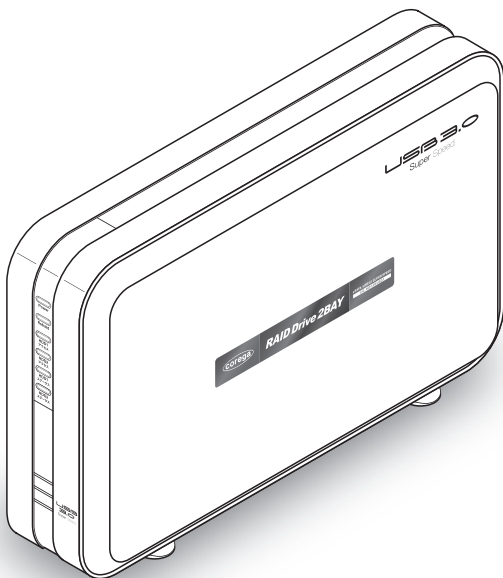




CG-HDC2EUS31-W

取扱説明書



Contents

お使いになる前に
お読みください

1

設置と接続

2

本商品の設定方法

3

Q&A

Q&A

安全にお使いいただくためにお読みください

ここでは、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明



この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



「分解禁止」



この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。



「電源プラグをコンセントから抜く」

警告



禁 止

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。



強制指示

付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたは AC アダプタをほかの機器に使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

⚠ 警告



禁 止

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、引っ張ったりしないでください。
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また、電源ケーブルが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、感電、火災の原因となります。
電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは、電源ケーブルを引っ張って抜かないでください。



禁 止

電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災の原因となります。



アース線またはアース端子を接続してください。

本商品または電源ケーブルにアース線またはアース端子が付いている場合は、アース線またはアース端子を接続してください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。



分解 禁止

本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。



プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。



プラグを抜く

本商品（AC アダプタを含む）から異常音がしたり、ケースが熱くなっている状態のまま使用すると、感電、火災の原因となることがあります。すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。



プラグを抜く

本商品（AC アダプタを含む）の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。



濡手 禁止

濡れた手で本商品（AC アダプタを含む）を扱わないでください。
感電の原因となります。

⚠ 警告



禁 止

雷のときは本商品（AC アダプタを含む）や接続されているケーブル類に触らないでください。

感電の原因となります。



禁 止

小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。

感電やけがを引き起こす原因となる場合があります。



禁 止

梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。

窒息する原因となります。



禁 止

不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、本商品の使用を終了してください。

そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。



禁 止

本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意



禁 止

本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。

- ・多段積み

- ・通風孔をふさぐ

（例：ジュータン、布団、テーブルクロス、毛布などでふさぐ）

- ・前後左右、上部に十分なスペースがない

（例：収納棚や本棚などの場所に押し込む）

内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。

また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

⚠ 注意



禁 止

本商品（AC アダプタを含む）を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。



浴室 禁止

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 暖房器具やボイラーの近く、火気のそばなど温度が上がる、高温になる場所（例：発熱する装置のそばなど）
- ・ 急激な温度変化のある場所（クーラーや暖房機のそばなど、結露するような場所）



水 濡 禁 止

- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
 - ・ 小さな金属類がある周辺
 - ・ 風呂場やシャワー室、加湿器のそばなど水のかかる場所や湿気が多い場所
 - ・ 水などの液体がかかる場所
 - ・ 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 高温、多湿、風通しの悪い場所
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ ほこりや粉塵の多い場所
 - ・ 強風のあたる場所
 - ・ ジュータンなどを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
 - ・ 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスの発生する場所
 - ・ 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
- 感電、火災、故障の原因となります。

（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）



強制指示

お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。



禁 止

本商品を移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

感電、火災の原因となります。



強制指示

取扱説明書に従って、正しく設置してください。

不適切な設置により、放熱が妨げられると、発熱による火災の原因となります。

注意



禁 止

長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

火災の原因となります。



禁 止

本商品（AC アダプタを含む）に強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。



禁 止

静電気が発生しやすい場所に設置しないでください。

感電、故障の原因となります。

はじめに

このたびは、「CG-HDC2EUS31-W」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://corega.jp/>

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。
---	------------------------------------	---	-----------------------

■表記について

本商品	CG-HDC2EUS31-W のことです。
「 」-「 」-「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[]	[] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：  → [OK]
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Starter、 Microsoft® Windows® 7 Home Premium、 Microsoft® Windows® 7 Professional および Microsoft® Windows® 7 Ultimate
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※ 本書では、複数の OS を「Windows 7/Vista」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などについて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章 お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明します。

■第 2 章 設置と接続

この章では、本商品の設置方法と接続手順について説明します。

■第 3 章 本商品の設定方法

この章では、本商品を活用するための設定方法について説明します。

■第 4 章 Q&A

この章では、困ったときの確認方法や解決方法を説明します。

■付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、コレガサポートセンタへの連絡先などを記載しています。

付属品一覧

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- ☐ CG-HDC2EUS31-W 本体
- ☐ AC アダプタ (1.2m)
- ☐ 電源ケーブル (2 極 アンチトラッキング対応 1m)
- ☐ ハードディスク固定用ネジ × 10
- ☐ ケース開封専用ドライバ
- ☐ USB 3.0 ケーブル (1m)
- ☐ はじめにお読みください
- ☐ 安全にお使いいただくためにお読みください
- ☐ 製品保証書 (6 か月)

動作環境

本商品は、以下のハードウェア環境を持つパソコンで使用できます。

■対応パソコン

- ・ USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン、Macintosh
- ・ eSATA 端子を標準搭載している DOS/V パソコン

■対応 OS

- ・ Windows 7 (64bit/32bit) /Vista (32bit) /XP (32bit) /2000
- ・ Mac OS X 10.6/10.5/10.4



- ・ 自作パソコンや、本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどであとから増設したパソコンはサポート対象外です。
- ・ eSATA と USB の同時接続はできません。使用するケーブルのみを接続してください。
- ・ USB のホットプラグは、接続する機器のコントローラに依存します。
- ・ eSATA のホットプラグには対応していません。
- ・ RAID コントローラを搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラを停止する必要があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・ RAID 構成しているパソコンでお使いの場合や、パソコンの RAID コントローラを停止できない場合は、USB 接続でお使いください。
- ・ eSATA でお使いの場合は、パソコンの eSATA インタフェースがポートマルチプライヤに対応している必要があります。
- ・ Macintosh は、USB 接続のみ対応しています。
- ・ 本商品を起動ドライブとして利用することはできません。

目次

安全にお使いいただくためにお読みください	2
はじめに	7
本書の読み方	7
本書の構成	8
付属品一覧	8
動作環境	9
目次	11

第 1 章

お使いになる前にお読みください	13
-----------------------	----

1.1 本商品の特長	14
1.2 各部の名称と機能	15
1.2.1 前面	15
1.2.2 背面	17
1.2.3 内部	19

第 2 章

設置と接続	21
-------------	----

2.1 設置と接続のながれ	22
2.2 設置する	23
2.3 ハードディスクを取り付ける	24
2.3.1 使用できるハードディスク	24
2.3.2 ハードディスクの取り付け	25
2.4 本商品を設定する	32
2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する	33
2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する	35
2.4.3 本商品の設定を確定する	36
2.5 側面カバーを取り付ける	39
2.6 本商品を接続する	41
2.6.1 USB ケーブルで接続する	42
2.6.2 eSATA ケーブルで接続する	43
2.7 接続の確認とフォーマット	44
2.7.1 ハードディスクのフォーマット容量	44
2.7.2 Windows 7 をお使いの場合	45
2.7.3 Windows Vista をお使いの場合	47
2.7.4 Windows XP をお使いの場合	49
2.7.5 Windows 2000 の場合	52

2.7.6 Macintosh をお使いの場合	55
第 3 章	
本商品の設定方法	57
3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する	58
3.2 冷却ファンコントロール機能を設定する	59
3.3 ケーブルを取り外す／電源をオフにする	61
3.3.1 USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする	61
3.3.2 eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする	66
3.4 オートリビルド（自動再構築）について	67
第 4 章	
Q&A	69
4.1 トラブル対処の方法	70
4.2 Q&A	71
4.2.1 電源がオンにならない	71
4.2.2 電源が突然オフになった	71
4.2.3 本商品を認識しない	72
4.2.4 ハードディスクを認識しない	73
4.2.5 設定を間違えた	74
4.2.6 オートリビルド（自動再構築）時のトラブル	74
付録	75
仕様一覧	76
保証と修理について	77
おことわり	79

第 1 章

お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明します。

1.1	本商品の特長	14
1.2	各部の名称と機能	15
1.2.1	前面	15
1.2.2	背面	17
1.2.3	内部	19

1.1 本商品の特長

本商品は、3.5 インチ SATA（シリアル ATA）ハードディスク 2 台を内蔵可能なハードディスクケースです。

本商品は次のような特長があります。

- ・ **最新の USB 3.0 に対応**

超高速な USB 3.0 接続に対応します。従来の USB 2.0 接続の約 10 倍にあたる 5Gbps（理論値）のデータ転送速度に対応します。

- ・ **汎用性の高い USB 2.0 にも対応**

USB 3.0 ポートを搭載していないパソコンでも、従来の USB 2.0 ポートに接続すれば、USB 2.0 接続としてさまざまな環境で使用できます。

- ・ **目的に合わせて選べる 4 つのモードに対応**

RAID 0（ストライピング）、RAID 1（ミラーリング）、JBOD（スパニング）、シングルモードで利用できます。

- ・ **PC 連動電源機能（スリープモード）を搭載**

パソコンの電源をオフにすると、自動的にスリープモードになります。パソコンの電源をオンにすると、スリープモードから復帰します。パソコンの電源に連動してスリープモードになるため、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防止できます。

- ・ **自動冷却ファンコントロール機能を搭載**

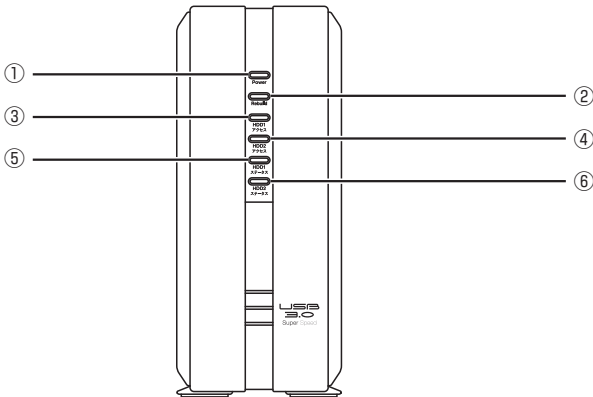
本商品内部の温度に応じて自動的に冷却ファンの回転数をコントロールし、本商品内部を最適な温度に保ちます。本商品内部の温度が低いときは冷却ファンの回転数を下げるため、静音性にも優れています。

- ・ **高速な eSATA 接続にも対応**

eSATA接続では、パソコン内蔵用の SATAハードディスクをそのまま外付けハードディスクとして使用するため、内蔵ハードディスクと同等の高速転送実現します。

1.2 各部の名称と機能

1.2.1 前面



① Power LED

電源の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
青	点灯	本商品の電源がオンで、次の状態です。 ・ PC 連動電源機能（スリープモード）が無効になっている ・ PC 連動電源機能（スリープモード）が有効で、本商品に接続しているパソコンの電源がオンになっている。
青	点滅	本商品の電源がオン、PC 連動電源機能（スリープモード）が有効になっていて、次の状態です。 ・ 本商品に接続しているパソコンの電源がオフになっている ・ 本商品に接続しているパソコンがスリープモードになっている ・ 本商品に接続しているパソコンが休止状態になっている ・ 本商品がパソコンに接続されていない  P.58 「3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する」
—	消灯	本商品の電源がオンになっていません。

② Rebuild LED

本商品に取り付けたハードディスクがリビルド（再構築）中であることを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
紫	点滅	RAID をリビルド（再構築）中です。
—	消灯	ハードディスクのモードが正常に設定されています。

③ HDD1 アクセス LED

HDD1 に取り付けられたハードディスクのアクセス状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点滅	ハードディスクのデータにアクセスしています。
—	消灯	ハードディスクのデータにアクセスしていません。

④ HDD2 アクセス LED

HDD2 に取り付けられたハードディスクのアクセス状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点滅	ハードディスクのデータにアクセスしています。
—	消灯	ハードディスクのデータにアクセスしていません。

⑤ HDD1 ステータス LED

HDD1 に取り付けられたハードディスクのステータスを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	ハードディスクにエラーが発生しています。
—	消灯	ハードディスクは正常に動作しています。

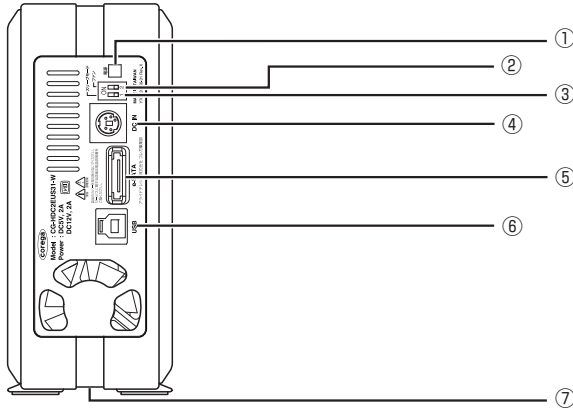
⑥ HDD2 ステータス LED

HDD2 に取り付けられたハードディスクのステータスを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	ハードディスクにエラーが発生しています。
—	消灯	ハードディスクは正常に動作しています。

1.2.2 背面

1



①電源ボタン

電源をオン／オフします。

電源オン：電源がオフの状態、電源ボタンを押します。

電源オフ：電源がオンの状態で、電源ボタンを約 3 秒押します。

②ファンスイッチ

冷却ファンコントロール機能を設定します。

ON：冷却ファンコントロール機能が有効です（初期設定）。

OFF：冷却ファンコントロール機能が無効です。

🔧 P.59 「3.2 冷却ファンコントロール機能を設定する」

③スリープモードスイッチ

PC 連動電源機能（スリープモード）を設定します。

ON：PC 連動電源機能（スリープモード）が有効です。

OFF：PC 連動電源機能（スリープモード）が無効です（初期設定）。

🔧 P.58 「3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する」

④ DC ジャック

AC アダプタの DC プラグを取り付けます。



- ・必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- ・本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- ・本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。

⑤ eSATA ポート

eSATA ケーブルを接続します。

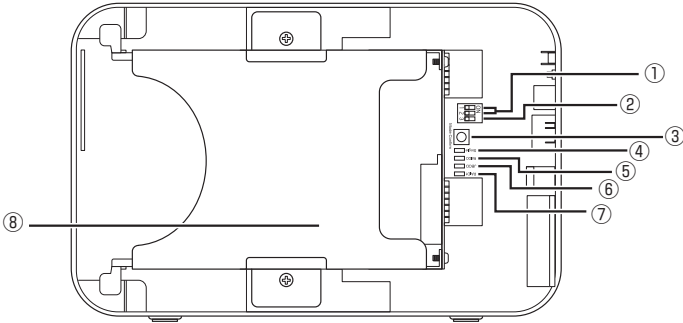
⑥ USB ポート (Standard B)

USB ケーブルを接続します。

⑦ シリアル番号／リビジョン (底面)

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせのときに必要となります。

1.2.3 内部



①ハードディスクモード設定スイッチ

スイッチ 1、スイッチ 2 の組み合わせでハードディスクのモードを設定します。

🔧 P.33 「2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する」

②ハードディスク容量設定スイッチ

お使いの環境に合わせて、ハードディスクの容量を設定します。

🔧 P.35 「2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する」

③ Mode Confirm ボタン

本商品の設定を確定するボタンです。

🔧 P.36 「2.4.3 本商品の設定を確定する」

④ Single LED（緑）

本商品がシングルモードで動作していることを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	シングルモードで動作しています。
－	消灯	シングルモードで動作していません。

⑤ RAID0 LED（緑）

本商品が RAID0 で動作していることを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	RAID0 で動作しています。
—	消灯	RAID0 で動作していません。

⑥ JBOD LED（緑）

本商品が JBOD で動作していることを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	JBOD で動作しています。
—	消灯	JBOD で動作していません。

⑦ RAID1 LED（緑）

本商品が RAID1 で動作していることを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	RAID1 で動作しています。
—	消灯	RAID1 で動作していません。

⑧ハードディスク固定用トレイ

ハードディスクを取り付けるための専用トレイです。

第 2 章

設置と接続

この章では、本商品の設置方法と接続手順について説明します。

2.1	設置と接続のながれ	22
2.2	設置する	23
2.3	ハードディスクを取り付ける	24
2.3.1	使用できるハードディスク	24
2.3.2	ハードディスクの取り付け	25
2.4	本商品を設定する	32
2.4.1	ハードディスクモード設定スイッチを設定する	33
2.4.2	ハードディスク容量設定スイッチを設定する	35
2.4.3	本商品の設定を確定する	36
2.5	側面カバーを取り付ける	39
2.6	本商品を接続する	41
2.6.1	USB ケーブルで接続する	42
2.6.2	eSATA ケーブルで接続する	43
2.7	接続の確認とフォーマット	44
2.7.1	ハードディスクのフォーマット容量	44
2.7.2	Windows 7 をお使いの場合	45
2.7.3	Windows Vista をお使いの場合	47
2.7.4	Windows XP をお使いの場合	49
2.7.5	Windows 2000 の場合	52
2.7.6	Macintosh をお使いの場合	55

2.1 設置と接続のながれ

はじめて本商品を設定する場合は、次の手順で設定します。



2.2 設置する

本商品を設置する前に、P.2 「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。

■設置に適した場所

- ・落下するおそれのない場所
- ・振動でゆれない安定した場所
- ・風通しの良い涼しい場所

■設置に適さない場所

- ・屋外、直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなど高温になる場所
- ・高温多湿な場所
- ・ほこりの多い場所
- ・背面の冷却ファンをふさぐ風通しの悪い場所
- ・パソコン、ディスプレイ、モデムなど発熱する機器の近く
- ・ディスプレイやスピーカなど磁気を帯びた機器の近く

■その他の注意事項

- ・電源ケーブルなどの各ケーブルに無理な力が加えないでください。
- ・ACアダプタは、本商品に付属のACアダプタをお使いください。付属のACアダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- ・本商品の上に物を置かないでください。
- ・本商品を屋外で使用しないでください。
- ・コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

本商品を設置する手順を説明します。

1 デスクの上など水平な場所に設置します。

本商品に取り付けられているゴム足を下にして設置します。

以上で、設置は完了です。

引き続き、P.24「2.3 ハードディスクを取り付ける」をご覧ください。

2.3 ハードディスクを取り付ける

ハードディスクの取り付けについて説明します。



- ・ 本商品に取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。
- ・ 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、本商品を設定するときに消去されます。ハードディスクのデータは、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- ・ 本商品はハードディスクを取り付けないと使用できません。

2.3.1 使用できるハードディスク

本商品で利用できるハードディスクは次のとおりです。

接続コネクタ	シリアルATA仕様(3.0Gbps、1.5Gbps)
ハードディスクサイズ	3.5インチ(101.6(W)×146.6(D)×25.8(H)mm)
接続台数	1～2台



- ・ パラレル ATA 仕様のハードディスクは取り付けられません。
- ・ 2.5 インチサイズのハードディスクは取り付けられません。
- ・ 条件を満たすすべてのハードディスクでの動作を保証するわけではありません。ハードディスクの形状（例：SATA コネクタの位置が特殊な場合など）によっては、正しく取り付けられない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 2 台以上のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。

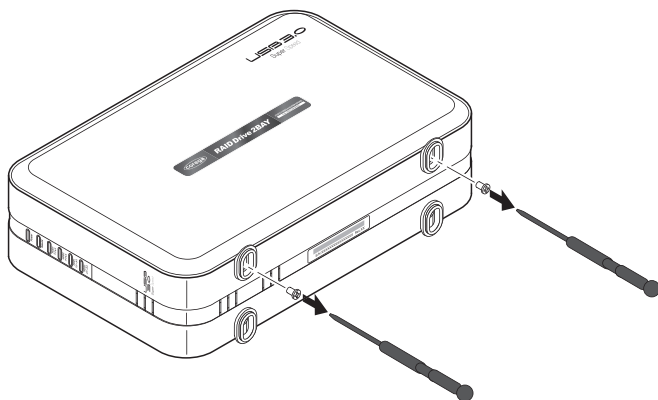
引き続き、**P.25** 「2.3.2 ハードディスクの取り付け」をご覧ください。

2.3.2 ハードディスクの取り付け

本商品にハードディスク（別売り）を取り付ける作業を説明します。手順は2台のハードディスクを取り付けるときの例です。

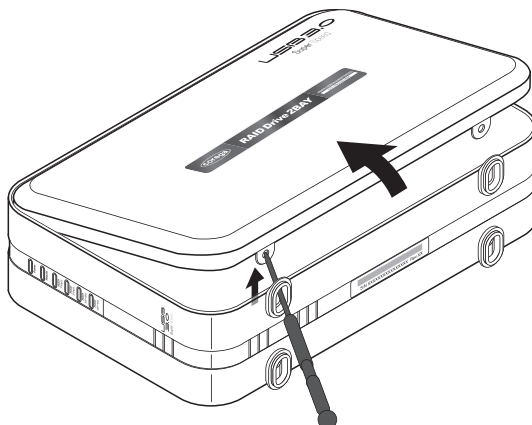
1 本商品の底面にあるネジを取り外します。

ネジはケース開封専用ドライバーを使って取り外します。



取り外したネジは元に戻すときに必要です。なくさないようにしてください。

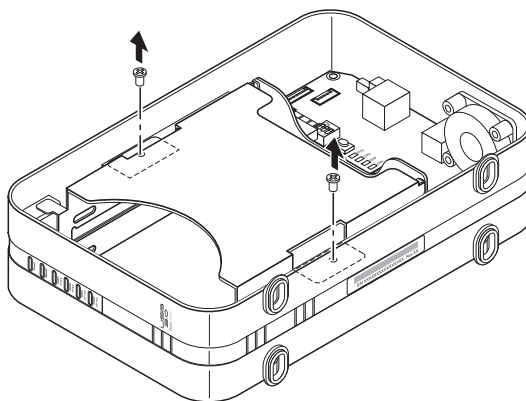
-
- 2 ケース開封専用ドライバをネジ穴に入れて持ち上げて、側面カバーを取り外します。



- 3 ハードディスク固定用トレイのネジを外します。



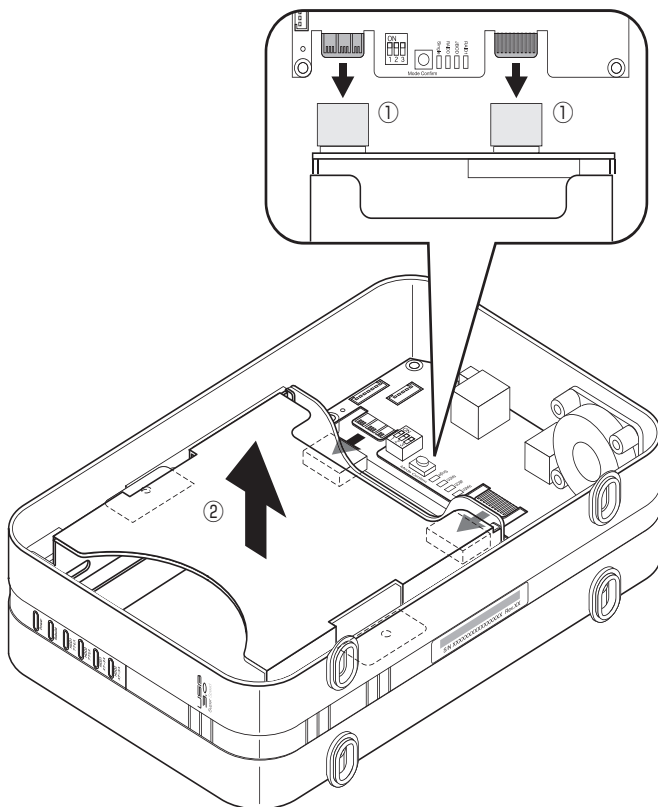
ケース開封専用ドライバは使用しないでください。



4 ハードディスク固定用トレイを①のように本体から取り外してから、②のように上へ持ち上げます。



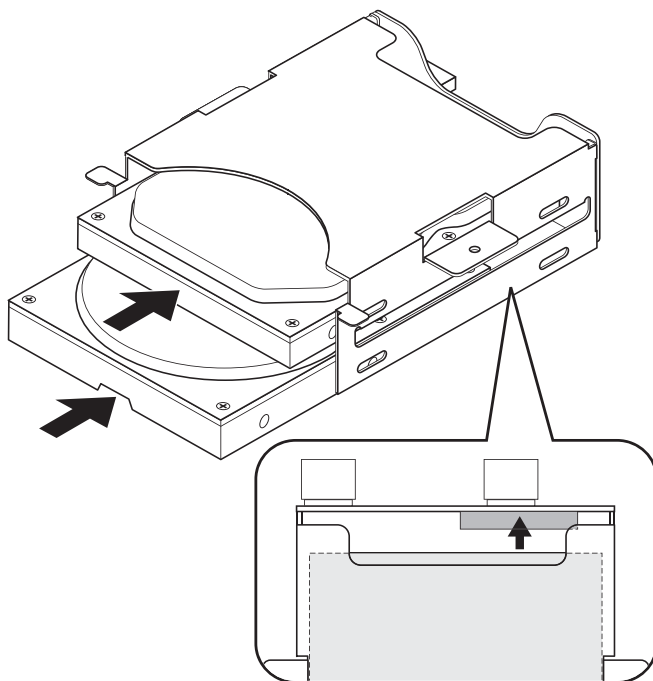
ハードディスク固定用トレイは、①のように必ず一度本体から取り外してから、②のように持ち上げてください。①のときに、無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。



5 ハードディスク固定用トレイにハードディスクを取り付けます。



2 台のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。

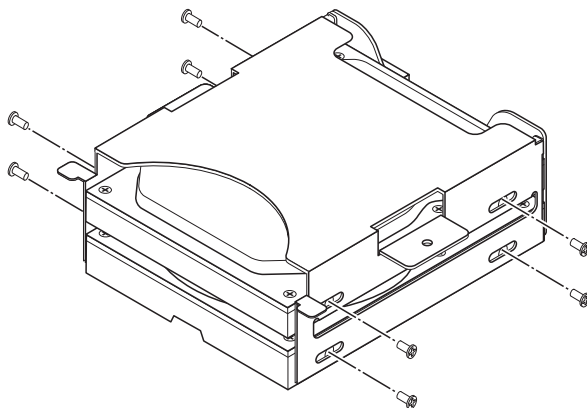


画面は 2 台のハードディスクを取り付ける時の例です。シングルモードのときは、1 台だけ取り付けて使うこともできます。

6 付属のハードディスク固定用ネジで、ハードディスク固定用トレイにハードディスクを固定します。



- ・ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。
- ・ケース開封専用ドライバは使用しないでください。

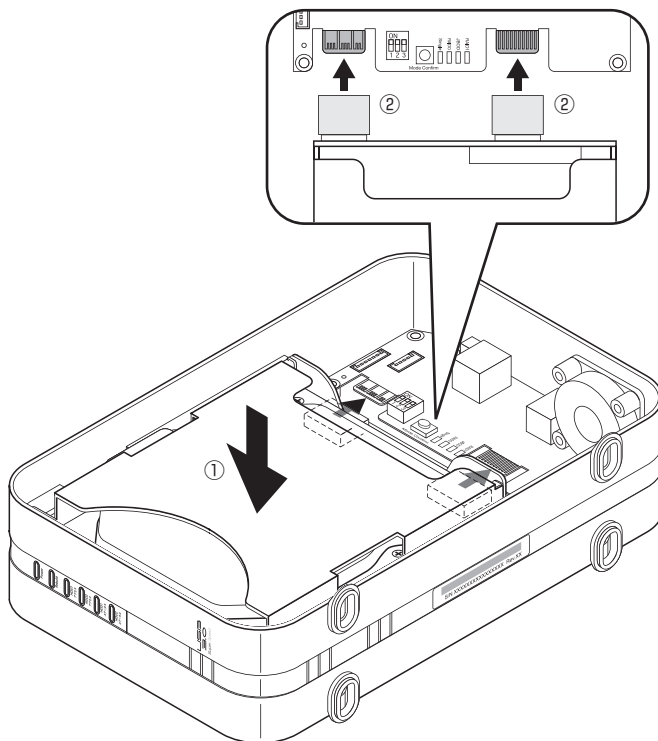


7 ハードディスク固定用トレイを元に戻します。

①のようにハードディスク固定用トレイを本体に戻し、②のように本体に取り付けます。



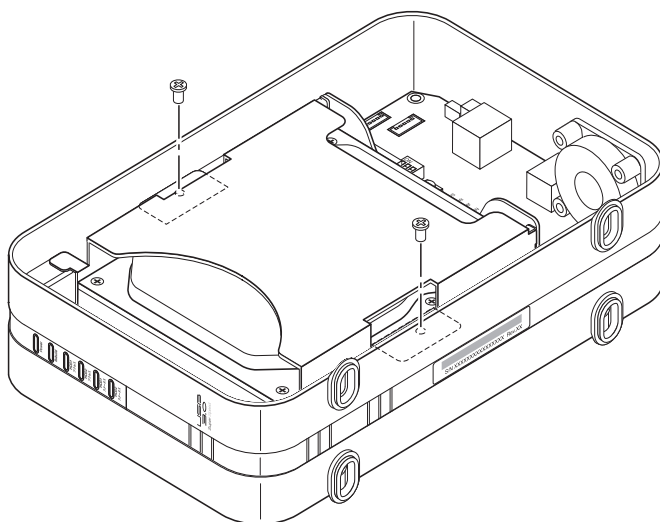
ハードディスク固定用トレイを無理に取り付けないでください。故障の原因になります。



8 ハードディスク固定用トレイをネジで固定します。



- ・ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。
- ・ケース開封専用ドライバは使用しないでください。



2

以上で、ハードディスクの取り付けは完了です。

引き続き、側面カバーを取り付ける前に、本商品を設定します。

 **P.32** 「2.4 本商品を設定する」

2.4 本商品を設定する

本商品を設定します。



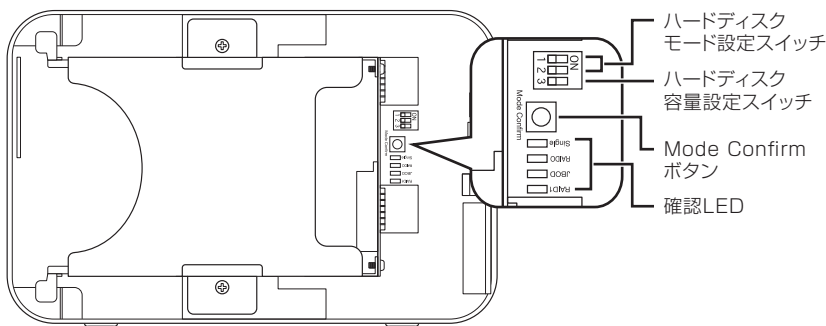
注意

- ・ 本商品に取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。
- ・ 本商品はハードディスクを取り付けないと使用できません。
- ・ 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、本商品を設定するときに消去されます。ハードディスクのデータは、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- ・ 設定したモードを異なるモードに変更すると、ハードディスクのデータは消去されます。ハードディスクのデータは、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- ・ 2台のハードディスクを使って1つのボリュームを構成する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。
- ・ Windows XP/2000 では、2TByte を超えるボリュームを使えません。2TByte 以下の容量に制限してお使いください。

👉 P.35 「2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する」

■設定スイッチと確認 LED の位置

本商品を使用する前に、ハードディスクのモードと容量を設定し、LED で確認します。スイッチと LED は、本商品内部にあります。



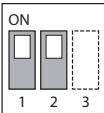
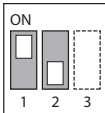
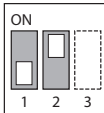
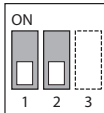
設定スイッチの設定方法は、**P.33** 「2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する」をご覧ください。

2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する

ハードディスクモード設定スイッチを設定するには、不要になったボールペンなど先のとがったものを使用します。

スイッチ 1 とスイッチ 2 の組み合わせによって、ハードディスクのモードを設定します。

■ハードディスクモード設定スイッチの設定

ハードディスクのモード	シングルモード	ストライピングモード(RAID 0)	スパニングモード(JBOD)	ミラーリングモード(RAID 1)
ハードディスクのモード設定スイッチ				

■シングルモード

取り付けたハードディスクの台数分、個別のボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクを取り付けた場合は、2 つのボリュームが使用できます。はじめは 1 台のハードディスクだけで使用し、容量が足りなくなったらハードディスクを追加するといった使い方もできます。

ハードディスクのメーカ、型番は、同じでなくても使用できます。

ハードディスクが故障した場合は、故障したハードディスクのボリュームのみ、読み書きできなくなります。



本商品の初期設定は、シングルモードです。ハードディスク 1 台で使用する場合も、シングルモードに設定してください。

■ストライピングモード (RAID 0)

2 台のハードディスクを取り付けて 1 つのボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクを 1 台としますので、ハードディスクの容量は 2 台分になります。必ず 2 台のハードディスクが必要です。同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。

2 台のハードディスクに分散してデータを読み書きするため、アクセスが速くなります。

ハードディスクが 1 台でも故障すると、すべてのデータが読み書きできなくなります。

■スパニングモード (JBOD)

2 台のハードディスクを取り付けて 1 つのボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクを 1 台としますので、ハードディスクの容量は 2 台分になります。必ず 2 台のハードディスクが必要です。同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。

ハードディスクが 1 台でも故障すると、すべてのデータが読み書きできなくなります。

■ミラーリングモード (RAID 1)

2 台のハードディスクを取り付けて 1 つのボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクに同じデータを書き込むため、ハードディスクの容量は 1 台分になります。必ず 2 台のハードディスクが必要です。同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。

1 台のハードディスクが故障しても、もう 1 台のハードディスクに同じデータが書き込まれているため、故障したハードディスクを交換することで復旧できます。
オートリビルド（自動再構築）について詳しくは、**P.67**「3.4 オートリビルド（自動再構築）について」をご覧ください。

引き続き、**P.35**「2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する」をご覧ください。

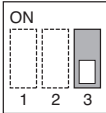
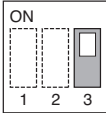
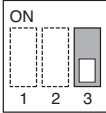
2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する

ハードディスク容量設定スイッチは、本商品を接続するパソコンの OS や、取り付けたハードディスクの容量に合わせて設定します。
通常は「OFF（ハードディスクの容量を制限しない）」のままで使用します。
お使いの OS が Windows XP/2000 で、ハードディスクの容量が 2TByte を超える場合に「ON（ハードディスクの容量を 2TByte に制限）」にします。ハードディスクの容量は 2TByte に制限されますが、Windows XP/2000 で使用できるようになります。



- ・ 本商品の電源がオンになっている状態でスイッチの操作はしないでください。故障の原因になります。
- ・ Windows XP/2000 では、2TByte を超えるボリュームを使えません。2TByte 以下の容量に制限してお使いください。

■ハードディスク容量設定スイッチの設定

お使いのOS	ハードディスクモード 設定スイッチ設定後の 1 ボリュームの容量	ハードディスク容量 設定スイッチの設定
Windows 7/Vista Mac OS X10.6/ 10.5/10.4	2TByteを超える場合	
	2TByte以下の場合	
Windows XP/2000	2TByteを超える場合※	
	2TByte以下の場合	

※2TByteのハードディスクとして使えます。2TByteを超える分は認識しません。

2.4.3 本商品の設定を確定する

次の手順で本商品の設定を確定します



警告

雷が発生しているときは、取り付けしないでください。落雷により感電するおそれがあります。



注意

取り付け前に、あらかじめほかの金属部分（水道の蛇口、ドアノブなど）に触れて体内の静電気を放電してください。このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないでください。



メモ

PC 連動電源機能（スリープモード）で本商品がスリープモードになっている場合は設定を確定できません。PC 連動電源機能（スリープモード）をオフにしてください。初期設定はオフです。

🔗 P.58 「3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する」

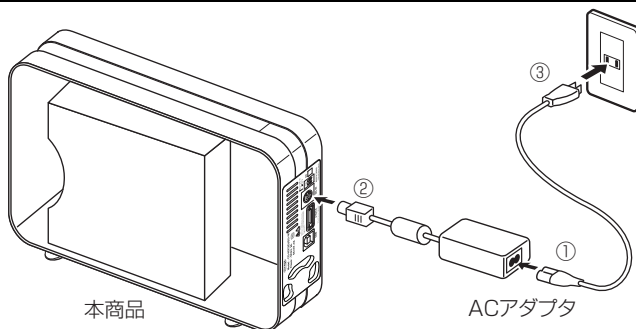
1 AC アダプタを接続します。

①電源ケーブルを AC アダプタに接続し、② DC プラグを本商品に接続し、③電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



注意

- ・必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- ・本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。

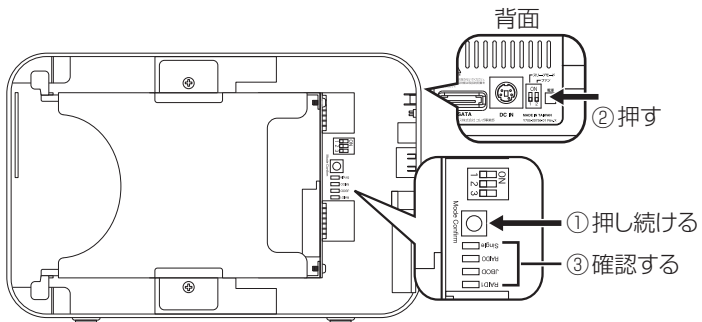


- 2 ①Mode Confirmボタンを押しながら、②本商品の電源ボタンを押して、電源をオンにします。③LED が点灯するまで Mode Confirm ボタンを押し続けます。



注意

取り付け前に、あらかじめほかの金属部分（水道の蛇口、ドアノブなど）に触れて体内の静電気を放電してください。このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないでください。



- 3 LED が点灯したら、Mode Confirm ボタンを離します。

本商品は、点灯している LED の内容に設定されています。



注意

PC 連動電源機能（スリープモード）で本商品がスリープモードになっている場合は設定を確定できません。PC 連動電源機能（スリープモード）をオフにしてください。初期設定はオフです。

☞ P.58 「3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する」

- 4 本商品の電源ボタンを約3秒押し、電源をオフにします。



注意

本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

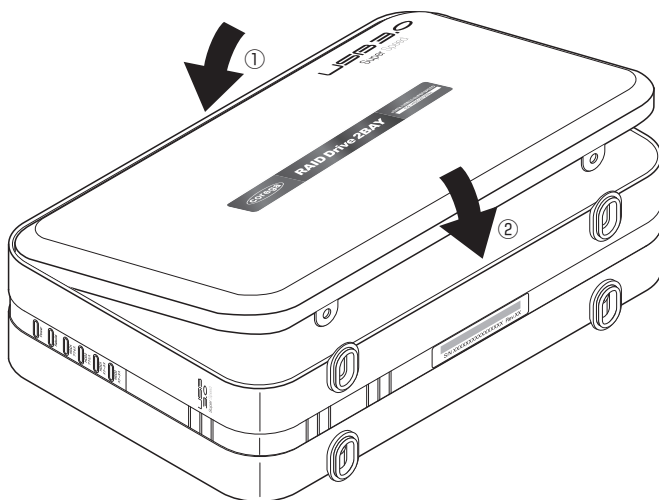
以上で、本商品の設定が確定されました。

引き続き、**P.39**「2.5 側面カバーを取り付ける」をご覧ください、側面カバーを取り付けます

2.5 側面カバーを取り付ける

本商品の設定の完了後、側面カバーを次の手順で取り付けます。

- 1 側面カバーの上部を本商品の上部内側のツメに引っかけてから、側面カバーを閉じます。



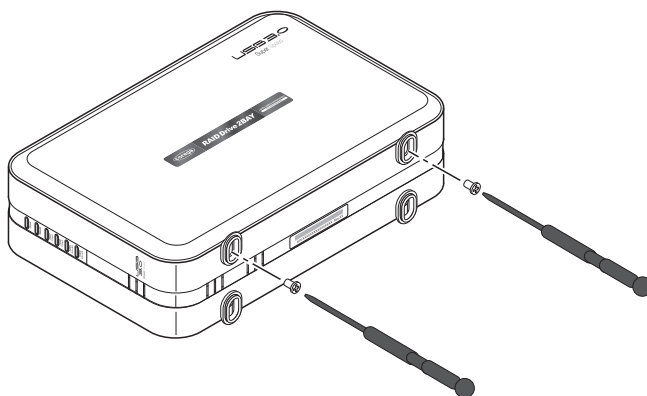
2

2 P.25「2.3.2 ハードディスクの取り付け」の手順 1 で 取り外したネジ 2 本で、側面カバーを固定します。

ネジはケース開封専用ドライバで固定します。



ハードディスク固定用ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。



以上で、ハードディスクの取り付けと本商品の設定は完了です。

引き続き、**P.41**「2.6 本商品を接続する」をご覧ください、本商品をお使いのパソコンに接続します。

2.6 本商品を接続する

本商品とパソコンを USB ケーブルまたは eSATA ケーブルで接続する方法を説明します。

接続方法	対応 OS	対応パソコン
USB 接続	Windows 7/Vista/XP/2000 Mac OS X 10.6/10.5/10.4	USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン、Macintosh
eSATA 接続	Windows 7/Vista/XP/2000	eSATA 端子を標準搭載している DOS/V パソコン



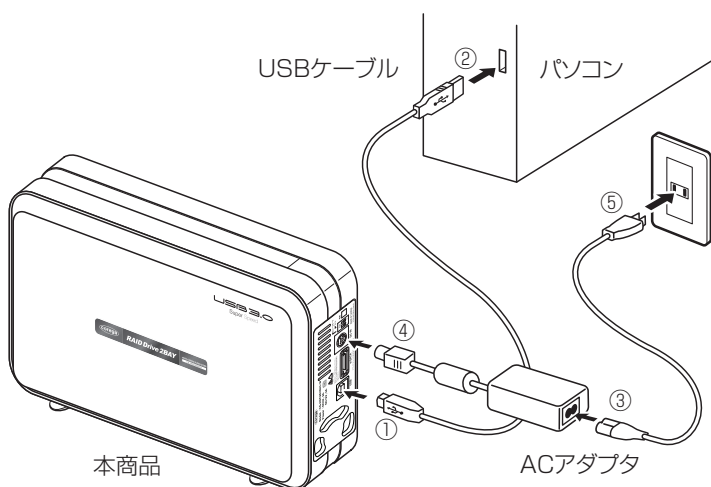
- ・ eSATA と USB の同時接続はできません。
- ・ RAID コントローラを搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラを停止してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・ パソコンですでに RAID を構成している場合や、パソコンの RAID コントローラを停止できない場合は、USB 接続でお使いください。
- ・ eSATA でお使いの場合は、パソコンの eSATA インタフェースがポートマルチブライヤに対応している必要があります。
- ・ Macintosh は、USB 接続のみ対応します。

👉 **P.42** 「2.6.1 USB ケーブルで接続する」

👉 **P.43** 「2.6.2 eSATA ケーブルで接続する」

2.6.1 USB ケーブルで接続する

本商品とパソコンを USB ケーブルで接続する手順を説明します。



1 USB ケーブルを接続します。

① USB ケーブル (Standard B) のコネクタを本商品に、② USB ケーブル (シリーズ A) のコネクタをパソコンに接続します。

2 AC アダプタを接続します。

③電源ケーブルを AC アダプタに接続し、④ DC プラグを本商品に接続し、⑤電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

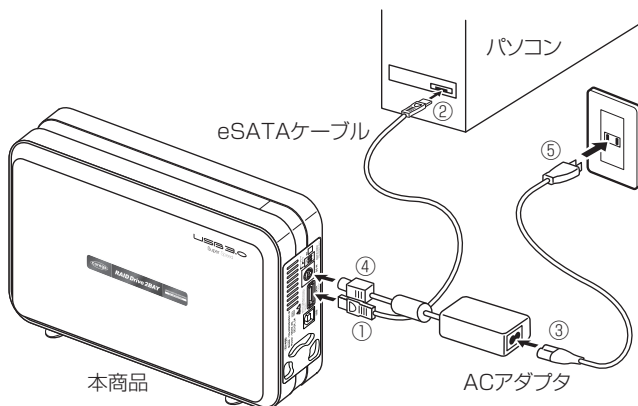
引き続き、P.44 「2.7 接続の確認とフォーマット」で、本商品が正常にお使いのパソコンに認識されていることを確認します。

2.6.2 eSATA ケーブルで接続する

本商品とパソコンを eSATA ケーブルで接続する手順を説明します。



- ・ RAID コントローラを搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラを停止する必要があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・ パソコンですでに RAID を構成している場合や、パソコンの RAID コントローラを停止できない場合は、USB 接続でお使いください。
eSATA でお使いの場合は、パソコンの eSATA インタフェースがポートマルチプライヤに対応している必要があります。
- ・ Macintosh は eSATA 接続に対応していません。



1 eSATA ケーブルを接続します。

eSATA ケーブルの両端のコネクタを①本商品と②パソコンの eSATA ポートに接続します。

2 AC アダプタを接続します。

③電源ケーブルを AC アダプタに接続し、④ DC プラグを本商品に接続し、⑤電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

引き続き、P.44 「2.7 接続の確認とフォーマット」で、本商品が正常にお使いのパソコンで認識されていることを確認します。

2.7 接続の確認とフォーマット

本商品がパソコンで認識されていることを確認して、お使いの OS に合わせてハードディスクをフォーマットします。ハードディスクのフォーマット方法は、各 OS のヘルプをご覧ください。

2.7.1 ハードディスクのフォーマット容量

ハードディスクのフォーマットは、OS ごとに認識できる形式が異なります。



注意

- ・ハードディスクによっては、フォーマット形式を指定している場合があります。
- ・Windows XP/2000 では、2TByte を超えるボリュームを使えません。2TByte 以下の容量に制限してお使いください。
- ・2TByte を超えるボリュームを Windows 7/Vista で MBR でフォーマットしても、Windows XP/2000 では認識しません。

	NTFS 形式	FAT32 形式	Mac OS 拡張形式
Windows 7/Vista	○	○ ※1	×
Windows XP/2000※2	○	○ ※1	×
Mac OS X /10.6/ 10.5/10.4	△ ※3	○ ※1	○

※1 4GByte 以上のファイルを扱えません。

※2 フォーマット形式に関係なく、ハードディスクの容量は 2TByte までしか認識できません。

※3 読み込みのみ対応します。

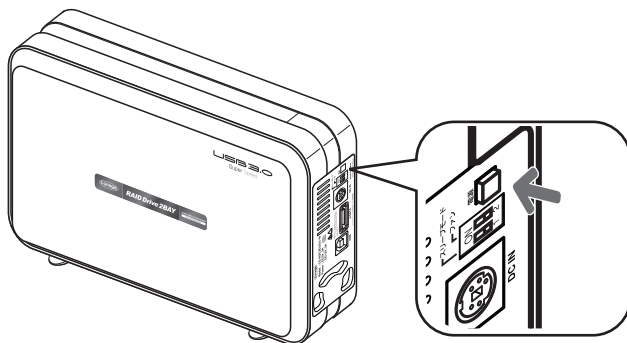
フォーマットしたあとに OS で表示されるハードディスク容量とハードディスクメーカーの公称値は計算方法が異なるため、容量が少なく表示されます。

	計算方法	500GByte の ハードディスクの例
ハードディスクメーカーの公称値	1 GByte=1,000MByte 1 MByte=1,000,000Byte	約 500GByte 約 500,000MByte
OS 上の表示	1 GByte=1,024MByte 1 MByte=1,048,576Byte	約 465GByte 約 476,837MByte

2.7.2 Windows 7 をお使いの場合

次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

- 1 本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。

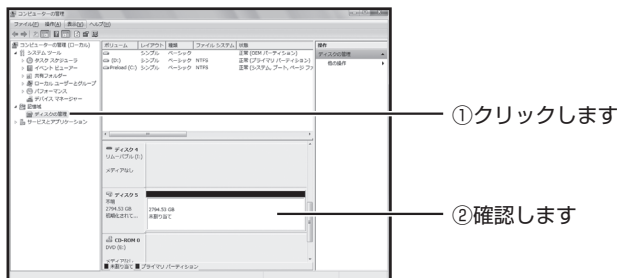


- 2 パソコンを起動します。

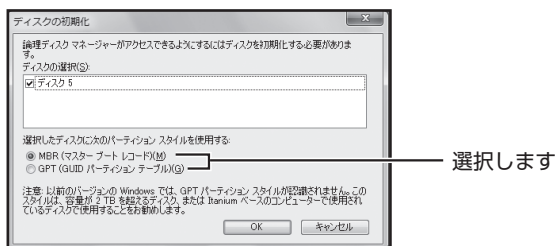
- 3 [スタート] をクリックし、「コンピューター」を右クリックして、「管理」をクリックします。



4 「ディスクの管理」をクリックし、「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。



「ディスクの管理」をクリックすると、次の画面が表示されることがあります。「GPT」または「MBR」を選択し、画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。

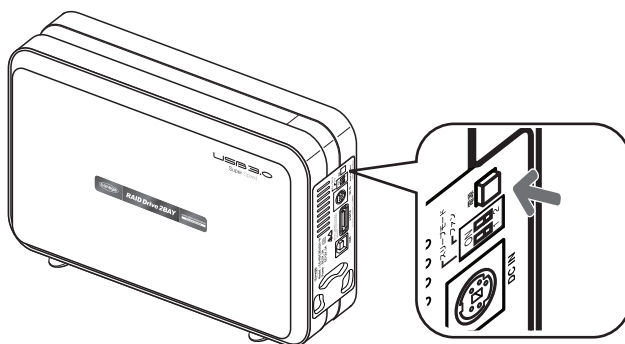


以上で、Windows 7 での確認は完了です。
引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.3 Windows Vista をお使いの場合

次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

- 1 本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。



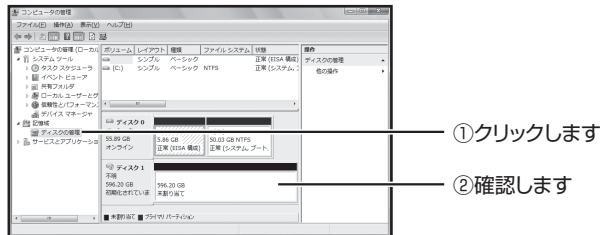
- 2 パソコンを起動します。

- 3 [スタート] をクリックし、「コンピュータ」を右クリックして、「管理」をクリックします。

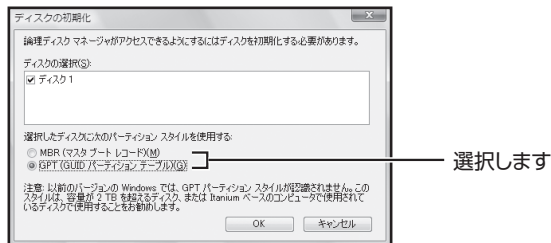


- 4 「ユーザアカウント制御」画面で、[続行] をクリックします。

5 「ディスクの管理」をクリックし、「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。



「ディスクの管理」をクリックすると、次の画面が表示されることがあります。「GPT」または「MBR」を選択し、画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。



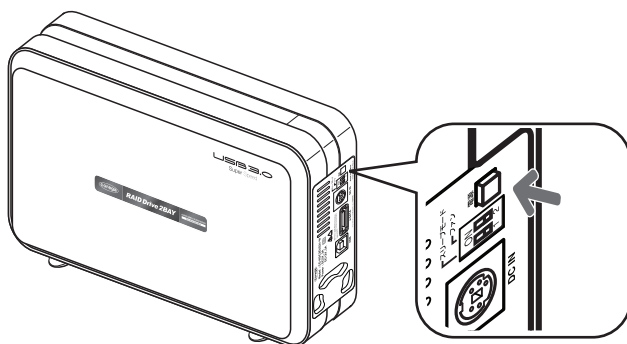
以上で、Windows Vista での確認は完了です。

引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.4 Windows XP をお使いの場合

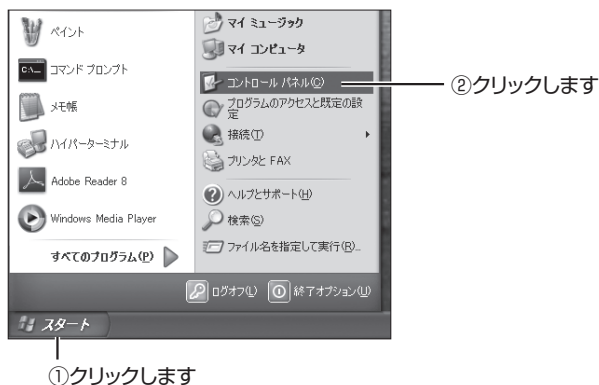
次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

- 1 本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。



- 2 パソコンを起動します。

- 3 [スタート] – 「コントロールパネル」の順にクリックします。



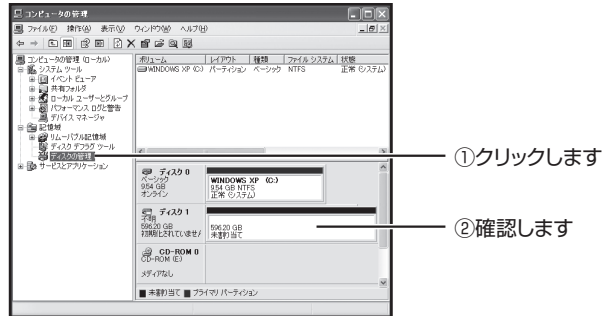
すでにクラシック表示が表示されている場合は、手順 5 に進みます。



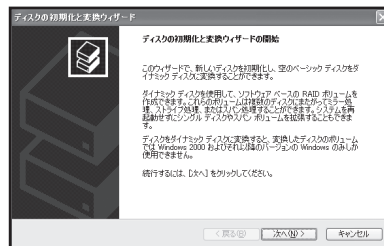
ダブルクリックします

ダブルクリックします

7 「ディスクの管理」をクリックして、「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。



「ディスクの管理」をクリックすると次の画面が表示されることがあります。画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。



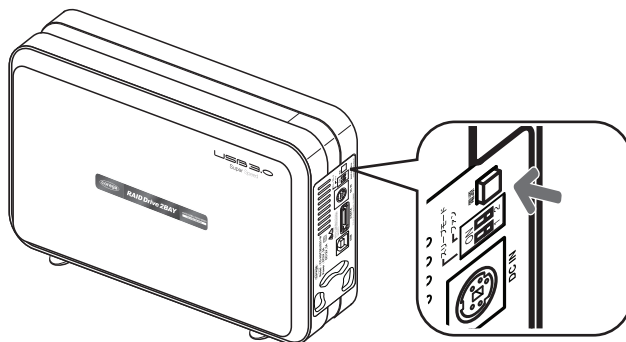
以上で、Windows XP での確認は完了です。

引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.5 Windows 2000 の場合

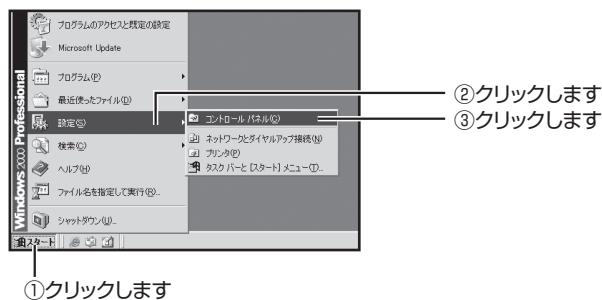
次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

- 1 本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。



- 2 パソコンを起動します。

- 3 [スタート] – 「設定」 – 「コントロールパネル」の順にクリックします。



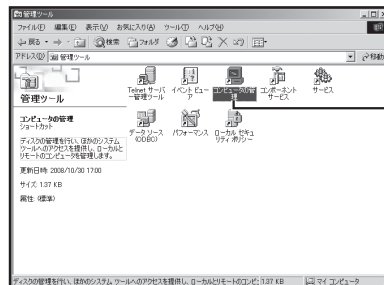
4 「管理ツール」をダブルクリックします。



ダブルクリックします

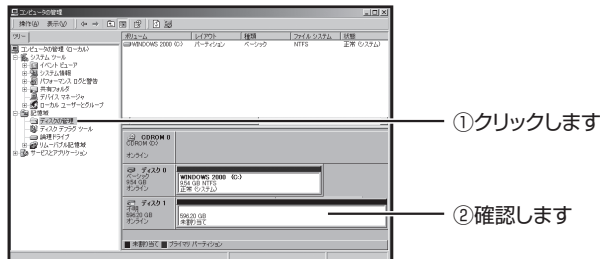
2

5 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。

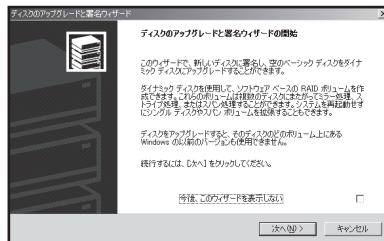


ダブルクリックします

6 「ディスクの管理」をクリックして「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。



「ディスクの管理」をクリックすると次の画面が表示されることがあります。画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。



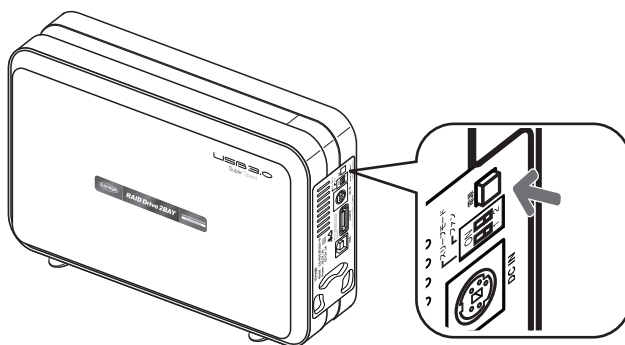
以上で、Windows 2000 での確認は完了です。

引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.6 Macintosh をお使いの場合

次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

- 1 本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。



- 2 お使いのパソコンを起動します。
- 3 お使いのハードディスクによって、次のいずれかの画面が表示されます。

未フォーマットのハードディスクを取り付けた場合

画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。



フォーマット済みのハードディスクを取り付けた場合

ダブルクリックしてフォーマット形式についてのメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってハードディスクのフォーマットをしてください。



※ 画面は例です。

以上で、Macintosh での確認は完了です。

第 3 章

本商品の設定方法

この章では、本商品を活用するための設定方法について説明します。

3

- 3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する 58
- 3.2 冷却ファンコントロール機能を設定する 59
- 3.3 ケーブルを取り外す／電源をオフにする 61
 - 3.3.1 USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする 61
 - 3.3.2 eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする 66
- 3.4 オートリビルド（自動再構築）について 67

3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する

本商品に接続したパソコンの電源に連動して、本商品の電源をスリープモードにする機能です。パソコンの動作によって次の表のとおり動作します。



注意

- ・スリープモードスイッチを切り替えるときは、本商品の電源をオフにしてから切り替えてください。
- ・PC 連動電源機能（スリープモード）は USB 接続時のみの対応となります。
- ・PC 連動電源機能（スリープモード）はすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。パソコンの仕様に依存します。

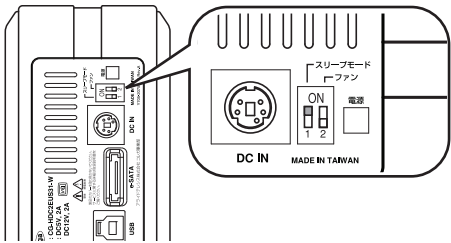
パソコンの動作	本商品の動作	本商品の Power LED
電源オン→電源オフ	電源オン→スリープ	点灯（青）→点滅（青）
電源オン→休止		
電源オン→スリープ		
電源オフ→電源オン	スリープ→電源オン	点滅（青）→点灯（青）
休止 →電源オン		
スリープ→電源オン		



メモ

オートリビルド中は、リビルドが完了するまで連動しません。

1 本商品の背面にあるスリープモードスイッチをオンにします。



以上で、PC 連動電源機能（スリープモード）が有効になります。

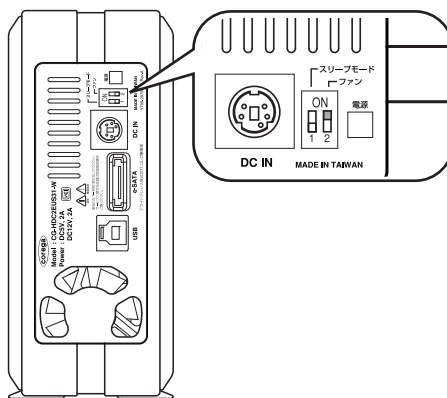
3.2 冷却ファンコントロール機能を設定する

本商品背面の冷却ファンコントロール機能を有効にすることで、本商品の内部温度によって、冷却ファンの速さが変わります。



注意 ファンスイッチを切り替えるときは、本商品の電源をオフしてから切り替えてください。

1 本商品の背面にあるファンスイッチをオンにします。



以上で、冷却ファンコントロール機能が有効になります。

冷却ファンコントロール機能の動作は、次の表をご確認ください。

■冷却ファンの回転数が上がる条件

冷却ファンコントロール機能が有効の場合、内部温度が高くなると自動的に冷却ファンの回転数が上がります。

冷却ファンスピードレベル	内部温度	冷却ファンの回転数
レベル0	—	0
レベル1	43℃以上	2400～3400rpm
レベル2	50℃以上	3400～5000rpm

■冷却ファンの回転数が下がる条件

冷却ファンコントロール機能が有効の場合、内部温度が低くなると自動的に冷却ファンの回転数が下がります。

冷却ファンスピードレベル	内部温度	冷却ファンの回転数
レベル0	40℃以下	0
レベル1	43℃以下	2400～3400rpm
レベル2	—	3400～5000rpm

3.3 ケーブルを取り外す／電源をオフにする

本商品の電源をオフにしたり、ケーブルを取り外したりするには、必ず次の手順に従ってください。

☞ P.61 「3.3.1 USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする」

☞ P.66 「3.3.2 eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする」

3.3.1 USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする

本商品に接続している USB ケーブルをお使いのパソコンから取り外すときは、必ず次の手順に従ってください。USB ケーブルの取り外し方法はお使いの環境によって異なります。

☞ P.61 「■ Windows 7 の場合」

☞ P.62 「■ Windows Vista の場合」

☞ P.63 「■ Windows XP の場合」

☞ P.64 「■ Windows 2000 の場合」

☞ P.65 「■ Macintosh の場合」

■ Windows 7 の場合

- 1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。



※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

- 2 次の画面が表示されたら、本商品をパソコンから取り外します。



-
- 3 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。



本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

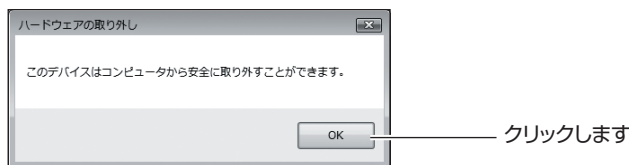
■ Windows Vista の場合

- 1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。



※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

- 2 [OK] をクリックします。



- 3 本商品をパソコンから取り外します。
- 4 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

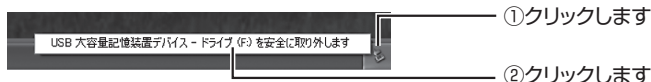


本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

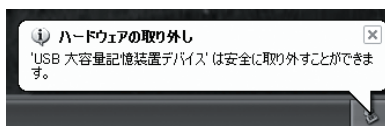
■ Windows XP の場合

- 1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。



※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

- 2 次の画面が表示されたら、本商品をパソコンから取り外します。



- 3 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

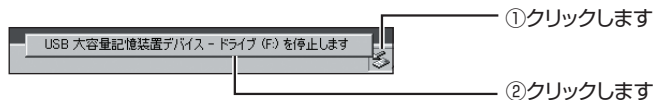


本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

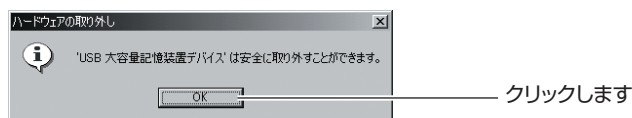
■ Windows 2000 の場合

- 1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。

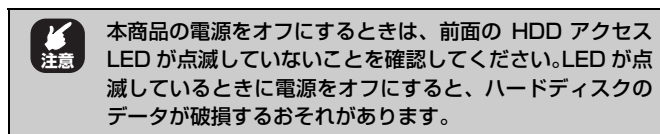


※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

- 2 [OK] をクリックします。



- 3 本商品をパソコンから取り外します。
- 4 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。



以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

■ Macintosh の場合

- 1 デスクトップにある本商品のディスクアイコンをゴミ箱に入れます。



ゴミ箱に入れます

※ 画面は例です。



ハードディスクのモードで複数のボリュームを作成している場合は、作成したボリュームのディスクアイコンをすべてゴミ箱に入れます。

- 2 本商品をパソコンから取り外します。
- 3 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。



本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

以上で、Macintosh での USB ケーブルの取り外しは完了です。

3.3.2 eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする

本商品に接続している eSATA ケーブルをお使いのパソコンから取り外すときは、必ず次の手順に従ってください。eSATA ケーブルの取り外し方法はお使いの環境によって異なります。



本商品は、eSATA のホットプラグに対応していません。

- 1 パソコンの電源をオフにします。
- 2 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。



本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

- 3 eSATA ケーブルを取り外します。パソコンの eSATA ポートから eSATA ケーブルを取り外します。

以上で、eSATA ケーブルの取り外しは完了です。

3.4 オートリビルド（自動再構築）について

本商品をミラーリングモード（RAID 1）で使用している場合、1 台のハードディスクに障害が発生しても、新しいハードディスクと入れ替えて電源をオンにすることで、自動的に RAID 構成を再構築します。

RAID 構成のリビルド中は、本商品前面の Rebuild LED が紫色に点滅します。リビルドが始まったら、完了するまで（Rebuild LED が消灯するまで）必ずお待ちください。リビルドの完了時間は、取り付けたハードディスクの容量によって異なります。



リビルド中は本商品の電源をオフにしたり、AC アダプタを電源コンセントから抜いたりしないでください。故障の原因になります。

第 4 章

Q&A

この章では、困ったときの確認方法や解決方法を説明します。

4.1	トラブル対処の方法	70
4.2	Q&A	71
4.2.1	電源がオンにならない	71
4.2.2	電源が突然オフになった	71
4.2.3	本商品を認識しない	72
4.2.4	ハードディスクを認識しない	73
4.2.5	設定を間違えた	74
4.2.6	オートリビルド（自動再構築）時のトラブル	74

4.1 トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	取扱説明書（本書）で設定を再確認する 管理者などに問い合わせる
-------	------------------------------------

それでも解決できないときは …



STEP2	本章の「Q&A」を確認する 🔍 P.71 「4.2.1 電源がオンにならない」 🔍 P.71 「4.2.2 電源が突然オフになった」 🔍 P.72 「4.2.3 本商品 را認識しない」 🔍 P.73 「4.2.4 ハードディスク را認識しない」 🔍 P.74 「4.2.5 設定 را間違えた」 🔍 P.74 「4.2.6 オートリビルド（自動再構築）時のトラブル」
-------	---

それでも解決できないときは …



STEP3	コレガホームページ（ http://corega.jp/ ）の情報を活用する 本商品の最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームなどを提供しています。
-------	---

それでも解決できないときは …



STEP4	コレガサポートセンタに問い合わせる 連絡先は取扱説明書（本書）の最終ページをご覧ください。
-------	--

4.2 Q&A

よくあるトラブルと、その対処方法を説明します。

4.2.1 電源がオンにならない

電源がオンにならないときは、次の内容を確認してください。

現象	・ 電源がオンにならない ・ Power LED が点灯しない
対処方法	電源ケーブルまたは AC アダプタに断線がないか、正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源がオンにならないときは、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧ください。修理を依頼してください。  P.77 「保証と修理について」

4.2.2 電源が突然オフになった

突然本商品の電源がオフになったときは、次の内容を確認してください。

現象	① Power LED が点滅（青）になった ② 突然電源がオフになった
対処方法	① Power LED が点滅（青）しているときは、本商品がスリープモードになっています。次のことを確認してください。 ・ 本商品を接続しているパソコンの電源がオフになっている ・ 本商品を接続しているパソコンが休止状態になっている ・ 本商品を接続しているパソコンがスリープ状態になっている ・ 本商品とパソコンを接続しているケーブルが抜けている ・ 本商品とパソコンを接続しているケーブルが断線している  P.58 「3.1 PC 連動電源機能（スリープモード）を設定する」 ② 本商品は電源ボタンでのみ電源をオン／オフできます。自動的にオン／オフはできません。次のことを確認してください。 ・ 電源ボタンが押されている ・ 本商品の電源プラグが電源コンセントから抜けている ・ 電源ケーブルまたは AC アダプタが抜けている ・ 電源ケーブルまたは AC アダプタが断線している  P.41 「2.6 本商品を接続する」 それでも本商品の電源ボタンを押して、Power LED が点灯しない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧ください。修理を依頼してください。  P.77 「保証と修理について」

4.2.3 本商品を認識しない

お使いのパソコンが本商品を認識しないときは、次の内容を確認してください。

現象	パソコンが本商品を認識しない
対処方法	本商品の接続を確認してください。 ・ 本商品の電源がオフになっている ・ 本商品のハードディスク固定用トレイのハードディスクが外れている ・ 本商品のハードディスク固定用トレイのコネクタが外れている ・ USB ケーブル・eSATA ケーブル・eSATA ブラケットが抜けている ・ USB ケーブル・eSATA ケーブル・eSATA ブラケットが断線している ・ パソコンの USB ポート・eSATA ポートが無効になっている  P.21 「第 2 章 設置と接続」 それでも本商品を認識しない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。  P.77 「保証と修理について」

4.2.4 ハードディスクを認識しない

ハードディスクを認識しないときは、次の内容を確認してください。

現象	本商品に取り付けたハードディスクを認識しない
対処方法	本商品の接続と設定を確認してください。 ・ 本商品のハードディスク固定用トレイのハードディスクが外れている ・ 本商品のハードディスク固定用トレイのコネクタが外れている ・ ハードディスクモード設定スイッチが正しく設定されていない ・ ハードディスクがフォーマットされていない  P.21 「第2章 設置と接続」 それでもハードディスクを認識しない場合は、本商品またはハードディスクが故障している可能性があります。次の項目をご覧ください。修理を依頼してください。  P.77 「保証と修理について」

4.2.5 設定を間違えた

本商品の設定を間違えたときは、次の内容を確認してください。

現象	ハードディスクのモード設定・容量設定を間違えてしまった
対処方法	ハードディスクのモード設定・容量設定をし直す必要があります。設定をし直すと、ハードディスクのデータはすべて消去されますので、あらかじめお客様の責任においてデータをバックアップしてください。  P.32 「2.4 本商品を設定する」 再設定の手順について、詳しくはコレガホームページ (http://corega.jp/) をご覧ください。

4.2.6 オートリビルド（自動再構築）時のトラブル

現象	オートリビルド中に電源をオフにしてしまった
対処方法	再度本商品の電源をオンにすると、自動的にリビルドが再開します。リビルドが完了するまで（Rebuild LED が消灯するまで）お待ちください。リビルドには数時間かかる場合があります。 万が一ハードディスクが 2 台とも故障した場合は、正常にリビルドできません。  P.67 「3.4 オートリビルド（自動再構築）について」

付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、コレガサポートセンタへの連絡先などを記載しています。

仕様一覧	76
保証と修理について	77
おことわり	79

仕様一覧

対応 PC (※1)		eSATA 端子、USB 端子のいずれかを標準搭載した DOS/V パソコン、または USB 端子を標準搭載した Macintosh
対応 OS	eSATA/USB 3.0	Windows 7 (64bit/32bit) /Vista (32bit) /XP (32bit)
	USB 2.0	Windows 7 (64bit/32bit) /Vista (32bit) /XP (32bit) /2000、Mac OS X 10.6/10.5/10.4
サポート規格	SATA	SATA (3.0Gbps、1.5Gbps)
	USB	USB 3.0/2.0 規格準拠
取得承認		VCCI クラス B
外部インタフェース	eSATA	接続ポート：eSATA メス
		転送速度：3.0Gbps (理論値)
	USB	接続ポート：USB 3.0 Standard B メス
		転送速度：5.0Gbps (理論値)
内部インタフェース	SATA	接続ポート：SATA メス ×2
		転送速度：3.0Gbps (理論値)
	電源	SATA 電源コネクタメス ×2
対応 HDD (※2)	HDD 形状	3.5 インチ (101.6 (W) ×146.6 (D) ×25.8 (H) mm) (※3)
	インタフェース	SATA (※4)
	接続可能台数	1 ～ 2 台
冷却ファン		あり
電源仕様 (AC アダプタ)	定格入力電圧	AC100V (50/60Hz)
	定格入力電流	1.2A
	定格出力	34W
環境条件	動作時	温度 0 ～ 40℃ / 湿度 5 ～ 90% (結露なきこと)
	保管時	温度 - 20 ～ 60℃ / 湿度 5 ～ 95% (結露なきこと)
外形寸法 (突起部を含まず)		63 (W) ×226 (D) ×145 (H) mm 本体のみ
質量		620g 本体のみ

※1 自作パソコンはサポート対象外です。本商品を USB 3.0 で使用するには、USB 3.0 に対応した USB 端子が必要です。動作確認済みの USB 3.0 インタフェースボードについては、コレガホームページ (<http://corega.jp/>) をご覧ください。ただし、すべてのインタフェースボードでの動作を保証するものではありません。

※2 条件を満たすすべてのハードディスクでの動作を保証するわけではありません。ハードディスクの形状 (例：薄型ハードディスクなど) によっては、正しく取り付けられない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※3 2.5 インチサイズのハードディスクは接続できません。

※4 パラレル ATA ハードディスクは接続できません。

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証することではありません。正しい使用方法で使用情况のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧ください、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- ・ 弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- ・ 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- ・ 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- ・ 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■修理を依頼されるとき の 注意事項

- ・ 必ずハードディスクを取り外してください

弊社に修理をご依頼される場合には、ハードディスクやほかの機器との接続ケーブル、および弊社保証の対象とならない部品などを、事前に本商品からお取り外してください。これらが本商品に付加された状態で弊社に引き渡された場合には、弊社ではこれらの管理について責任を負いかね、いったんお客様に返却させていただきます。

※ なお、輸送中に生じたハードディスク、およびハードディスクに記憶されたデータの破損、汚損、紛失、そのほか弊社保証の対象とならない部品に関連して生じうる一切の損害については、その責任を負いかねます。

- ・ 保証期間内外・対象有無にかかわらず、故障の場合は新品良品との交換となります
そのため、設定された内容はすべて初期化されます。
- ・ お使いのハードディスクのデータは保証できません

本体を修理交換後、修理前にお使いになっていたハードディスクを装着しても、データの保証はいたしかねますのでご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格、修理受付期間などが記載されていますのでご覧ください。

<http://corega.jp/repair/>

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠していません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

Copyright©2010 アライドテレシスホールディングス株式会社

corega は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

2010 年 12 月 初版

2011 年 2 月 第二版

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

<http://corega.jp/>

■商品に関するご質問は …

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メールまたは電話でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

<http://corega.jp/faq/>

電話 045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00 月～金（祝・祭日を除く）

※ サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（<http://corega.jp/>）をご覧ください。

※ 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※ サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported only in Japanese.

※ 電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- ・ 商品名
- ・ シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- ・ お名前、フリガナ
- ・ 連絡先電話番号、FAX 番号
- ・ 購入店
- ・ 購入日付
- ・ お使いのパソコンの機種
- ・ OS
- ・ 接続構成
- ・ お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）